陣内俊　Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESING WORKS /2008/All Rights Reserved

2024 年 7-9 月号
Vol.66

支援者の皆様へ

支援者の皆様、いつもお祈り、ご支援をありがとうございます。

4 月には長女のかなえが小学校に入学し、次女のななみは幼稚園の年中になったと報告しましたが、感謝なことに私たち家族は皆元気で過ごしています。夏休みには従兄弟家族が海外の赴任先から日本に帰省していたこともあり、たくさん遊んで毎日を楽しく過ごすことができました。7 月後半には家族 4 人で千葉の九十九里浜に 1 泊旅行をし、海やプールを楽しむことができました。

2 人の子どもが社会人と中学 3 年生になった練馬グレースチャペルの友人のひとりが「子どもが成長すると手はかからなくなるけど悩みの種類が変わる。小さい頃は手がかかって本当に大変だったし繰り返す体力はないけれど、今思い出すとあの頃こそ最も輝いていた時代だった」と仰っていました。二度と戻ってこない今という時を将来「もっと深く味わっておけば良かった」と後悔しないように、大変な中にも喜びと感謝をもって子どもと過ごしたいと夫婦で決意を新たにしています。

鬱の再発予防のための北海道での避暑と神からの語りかけ

2016 年に鬱が寛解してからの 8 年間でこれまで 6 回ほど、ストレスや過労とは無関係に 8 月から 9 月にかけて突発的に鬱症状が再発してきました。夏の酷暑が自律神経や脳内伝達物質のバランスに影響を及ぼす季節性の鬱かもしれないと類推し、心療内科の医師とも相談したうえで昨年に続き今年も 8 月を北海道で過ごしました。今回も友人のご厚意に甘え札幌を拠点に約 1 か月の「予防的な転地療養」となりましたが、今年の北海道の夏は昨年以上に涼しく、朝晩は 20 度前後まで気温が下がる日が多かったため、7 月の東京の酷暑で異変を感じていた脳の状態が日に日に回復していくのを感じながら過ごしました。コロナ禍の「恩恵」でほとんどの仕事はオンラインと PC でできるようになったおかげで東京と変わらず仕事をしながら、出会いや再会や得がたい交わりの恵みにも与りました。

1. 川湯ビレッジ道東クリスチャンセンターに 1 週間の滞在

15 年前、練馬グレースチャペルで「チーム江古田」というセルグループのリーダーをしていました。そのとき一緒に「聞き屋ボランティア」やゴミ拾い活動をしていた仲間のひとりの奥本希さんとご主人の常在さん、お母さんの天野姉妹はその後北海道に移住し、10 年前からクリスチャンのリトリート施設「川湯ビレッジ道東クリスチャンセンター」の運営をされています。高齢化・過疎化が進む道東の弟子屈町で若い活力として様々な地域貢献をしつつ、弱者に寄り添い地元の方々に福音を証しされているご夫妻とスタッフの方々の地道で忠実な働きに励まされました。施設のチャペルタイムではメッセージをさせていただき、共に神の恵みを覚えるひと時となりました。

2. 過去からのつながりと未来へのつながり

私は 1996 年から 2002 年まで帯広畜産大学獣医学科で学びましたが、そのときに与えられた繋がりは 20 年以上が経った今も続いており、今回も札幌で当時の友人 2 人にお会いして旧交を温めました。そのうちのひとりは私が大学生のときに立ち上げた聖書研究会の活動を通してキリストに導かれ洗礼を受けたのですが、大学卒業後に神学校で学び、今も某神学校でオンデマンド講座を担当されています。当時と変わらぬ彼女の神学や教会への謙虚で真摯な姿勢に学びつつ、四半世紀、それぞれの人生を通して神が働かれてこられたことを分かち合えたのは得がたい時間でした。

また、空知地方の教会の牧師で性的マイノリティを応援する立場のご夫妻・K さんと R さんにお会いし、私の新しい召しについて励ましていただくと共に、先生方にも「激励された」と仰っていただきました。先生方からは当事者との出会いを通して「声なき者」と連帯するように導かれた証しをお聞かせいただき、その後に私と同じく「性的少数者と共に生きる」というアライの立場を表明する全国の福音派の牧師や神学者にも繋いでいただきました。主が新しい召しを先立って導いてくださっているという躍動と恵みを感じています。

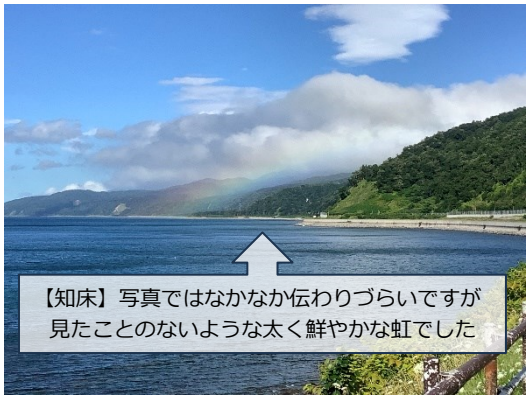
3. 約束の虹

道東に滞在中、50cc のスクーターをレンタルして何度か片道 3 時間ほどのツーリングを楽しみました。川湯温泉から斜里の方面に北上し、オホーツク海を左手に見ながらその先の知床方面にまで足を伸

ばしたときのことです。雄大な知床の大地の緑、海の群青、夏空の青の中に原付のエンジン音だけが聞こえる中、海風を受けながら国道を進んで行くと、不意に前方に太く大きな虹が架かっていることに気づき、目が釘付けになりました。バイクから降りてタブレットで写真を撮り、引き返して川湯ビレッジに帰りましたが、「あれはもしかしたら神様からの語りかけだったのかもしれない」という思いが道中、強くなりました。「虹」は性の多様性のみならず教会や社会の多様性の象徴でもあり、友人でトランス男性の寺田留架くんは性的マイノリティ当事者やアライのクリスチャンが安心できる居場所として**「約束の虹ミニストリー」**を主催しています。

また虹は「被造物ケア」の重要な象徴でもあります。被造物ケアのキリスト教団体ア・ロシャの神学顧問であるデイブ・ブックレス氏は第二ペテロ 3 章 10 節を釈義し、この御言葉は伝統的に「地が滅ぼされる」と訳されてきたが、むしろ、**「地とその働きは顕わにされる」**と訳すべきだと書いています（『被造物ケアの福音』145 頁）。そして主による刷新が顕れる日が「ノアの洪水の日」となぞらえられている（6 節）ことに希望があるとブックレス氏は続けます。**「5 節から 7 節にかけて、来るべき滅びはノアの洪水に例えられています。手紙の著者は、この世が直面する裁きの火は、ノアの時代に地球を「滅ぼした」洪水のようだと述べています。しかし、もちろん、大地は洪水によって完全に破壊されたわけではありません。清められ、精錬され、最後は剥き出しにされることで、新しいスタート、つまり新しい世界を再び始めることができたのです。きちんと理解をすれば、ペテロの手紙第二 3 章は、この地球の未来に大きな希望を与えてくれます。この未来は、大きな惨禍と破壊を含みますが、最終的には栄光のうちに再び新しくされ、回復された創造へと導いてくれるでしょう」（前掲書 146 頁）。**

「約束の虹」は「うめく被造物」がいつの日か刷新され回復されるという被造物ケアの約束であると同時に、性的マイノリティと教会の間にかかる「福音の橋」の象徴でもあるのではないか。私の人生の召しとして導かれている二つの大きなテーマである「被造物ケア」と「性的マイノリティと共に生きる」ということが、太く大きく架かった「約束の虹」というかたちで二重に神様からの「しるし」をいただいたように思ったのです。**虹を架けるのは神様であって私ではないこと、そしてその虹は「太い」ということを主から語られました。**細い虹ではなく太い虹が必ず架かる日がくる。そしてそれは私ではなく神の働きによって。言葉によらないこの語りかけが、東京に戻った今も私の心に焼き付いています。



メッセージ要約『驚くべき恵み』

世界一有名な讃美歌「Amazing Grace（驚くばかりの）」の作詞者のジョン・ニュートンは奴隷商人でした。アフリカ西海岸から強制連行される奴隷たちは家畜以下の扱いでしたが、当時はキリスト教会もパウロの言葉を根拠に奴隷制度を肯定していましたから、彼に罪の意識はありませんでした。しかしニュートンが 25 歳のときに船が嵐に遭い難破したとき、**1. 自分が救いがたい罪人であること、2. 神の愛とイエスの十字架の恵みはそんな自分をも救うほどに大きいこと**、という 2 つの啓示を受けます。その後年月を経て、彼は奴隷貿易商という自らの職業に我慢ができなくなり、牧師・讃美歌作者の道に転向します。彼は後にウィリアム・ウィルバーフォース下院議員の「奴隷貿易廃止協会」の相談役として世界初の「奴隷廃止法案の可決」に貢献するのです。恵みを受けた私たちは受けたその恵みによって世界をよりよい場所に変えていくように召されているのではないでしょうか。

祈りの課題

◇純子・かなえ・ななみ・俊の体調が守られ、感染症、事故などからも守られるように。
◇翻訳した本『もしイエス様が市長だったら』が多くの人に届けられ、役立てていただけるように。
◇多様性を包摂する教会の姿を夢見て「約束の虹」を見させていただきたいと願っています。神様が必要な出会いを与えてくださり、言葉を与えてくださり、対話と理解を深める働きのために用いられるように。
◇YouTube／Podcast での発信を続けており、クリスチャンではない多くの方々にも聴いていただいています。聴いてくださる方々に神が日々を生きる希望を与えてくださるように。

2024 年 10 月以降の主な活動予定

月　日	内　容	場所、補足
10 月 13 日	礼拝説教／午後のワークショップ	南浦和バプテスト教会（さいたま市）
10 月 24 日	「虹ジャム礼拝」での説教（約束の虹ミニストリー）	オンライン
10 月 28 日	FVI 総会	本郷台キリスト教会（横浜市）
11 月 6 日	動物国際事情　授業	帝京科学大学
随時継続的に	教会を建て上げる情報発信／訓練／啓発（エペソ 4：12）	国内各地／オンライン

＊上記は現在までで分かっている暫定的な範囲の予定です。

連絡先（奉仕・各種仕事のご依頼もこちらへ）

陣内への Email　shun@karashi.net　**無料メルマガ、YouTube 放送、Podcast、ブログなど→「陣内俊」で検索**

ご支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援をもってご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

■ゆうちょ銀行口座番号　12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
■他行からの振込　店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座
口座番号：0142825　「陣内俊を支える会」
■郵貯振替口座番号　00830-1-142825　名義：「陣内俊を支える会」
（同封の振込用紙がご利用いただけます。）

＊振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。
＊振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封いたしますが、**振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。**お振込くださるときにご利用ください。（毎月ご利用の方のために複数枚同封しています。）
＊Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。